



自立した活動を目指す生徒会活動 ~永久津中学校~

▶永久津小中合同田植えの様子



永久津中学校は、全校生徒三十七名の小さな学校です。校舎・校庭ともにきれいで、皆楽しく学校生活を送っています。小学生とも仲が良く、小中合同で活動する行事も多くあります。

今年の永久津中学校は、生徒会執行部を中心に二つのことに一生懸命取り組んでいます。一つは、エコキャップ活動です。エコキャップ活動とは、ペットボトルのキャップを集めてお金やワクチンと交換し、それを寄付するという

活動です。エコキャップ活動とは、ペットボトルのキャップを集めてお金やワクチンと交換し、それを寄付するという活動です。エコキャップ活動とは、ペットボトルのキャップを集めてお金やワクチンと交換し、それを寄付するという活動です。

この二つの活動を頑張る、より素晴らしい学校にしたいと思っています。また永久津中学校の学力がますます向上するように、学習委員会と協力して様々な活動を行っていきたく思います。これからの活動も、これらの活動を通じていき「美しい学校」を目指し、全校生徒が一つになり頑張っていきます。

ものです。全校生徒で昨年度末から始めて、現在五千個以上集まっています。これからも続けていき、一人でも多くの命を救えるよう頑張りたいと思います。

二つめは、五月に行われた生徒総会で決定した「モーニングクリーン」と名付けた朝の清掃活動です。月曜日、水曜日、金曜日に各学年で分かれて行っています。その時に気を付けているのは、「できるだけ皆で固まって活動しない」ということです。「自分



▲国際交流員としての人気を全うしたブライアンさんには、本市と母国ニュージーランドを結ぶ架け橋となってもらうため、小林親善大使を委嘱しました。



国際交流 『ブライアンの一筆啓上』Final
WORLD サンキュー コバヤシ
Thank you Kobayashi (ありがとう小林市の皆さん)

皆さんこんにちは。自分でも信じられないのですが、来日してあつという間に5年が経ちました。18歳で新潟県の上越市に1年間留学。それから大学を卒業し、携帯会社のボーダフォンやASB銀行で働きました。その間も、ずっと日本に住み、働くことが私の夢でした。それから月日が経ち、ようやく28歳で夢が叶って小林市の国際交流員になりました。

私のお母さんは日本人のため、子どもの頃から何回も日本に来ていました。しかし、小林市の国際交流員になると知ったとき、実はどこにも小林市があるの知りませんでした。まず地図で探しましたが、見つかることは出来ませんでした。お父さんが持っていた大きい地図で、ようやく場所を確認できました。小林市のことをもっと知るために、インターネットで検索してみましたが、最初に出てきたものが世界ホットドッグ早食い大会チャンピオンの小林尊さんでした。

ニュージーランドを出発し

最初の3日間は新宿で研修。その後宮崎に着いた時、空港を出て最初に目に入ったのはヤシの木でした。その光景は、私が知っていた日本とあまりにも違って、一瞬ハワイに感じたかと思っていました。ですが、翌日小林市に着き、すぐに気に入りました。

私の主な仕事は、英会話教室と学校訪問。そのため、多くの優しい人いっぱい会えることができ、本当に嬉しいです。また、学校で子どもたちと触れ合った時には、日本とニュージーランドの子どもは話す言葉が違うだけで、やっぱり同じなんだなと思いました。おかげさまで授業の時間や休憩の時間はとても楽しかったです。

皆さんのおかげで楽しい毎日が過ごせました。そして西諸の方言が少し話せるようになりました。学校訪問でも、英会話教室でも、市長の通訳でも、他の仕事をやっていても、自分の自由時間でも、忘れられない人との思い出がたくさんできました。

残念ながらこの仕事を続け

るのは最大5年間と決まっているため、国際交流員としての人生に幕が降ります。今までやった仕事の中で、この仕事が一番好きでした。5年間を小林市で過ごしたことで、ニュージーランドや上越に加えて、また一つ田舎ができたと思っています。

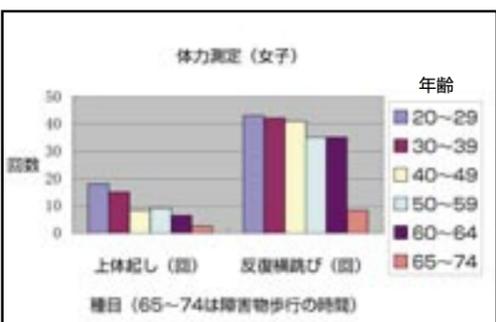
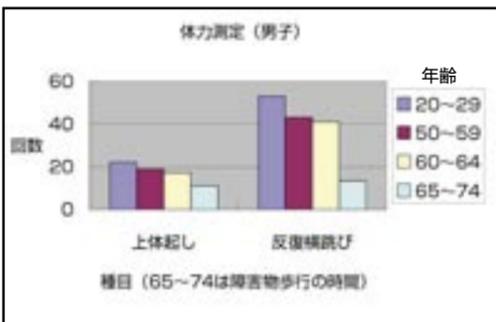
皆さんに、最後のお手紙を書いている今はまだ、どこに行くかが決まっています。去年の6月に永住権を取りましたので、ニュージーランドには帰らない予定です。

小林市で楽しい時間を過ごすことができ、いい人いっぱい会えて、いい思い出がいっぱいできることが出来て、本当に嬉しいです。そして、私はそれを誇りに思っています。もし、どこかで私を見かけたら、ぜひ声をかけてください。

小林市の皆さん、5年間お世話になりました。そして、本当にありがとうございました。



市民体力向上事業「ガッツイ運動教室」スタート



ガッツイ運動教室」が各地区(小林・須木・野尻)で19歳から75歳の57名が参加してスタート。これは、市民体力向上事業の一つとして初めての取り組みです。1回目は、体脂肪や反復横跳び、腹筋、長座体前屈などを測定。体力に自信の無い方も一生懸命頑張っていました。測定結果は左のグラフのとおりです。

2回目からは、小林市体育指導委員が考案した「ガッツイ運動プログラム」を定期的に実施し、楽しみながら体力向上を図り、その成果を3月に再度体力測定し、報告する予定です。

